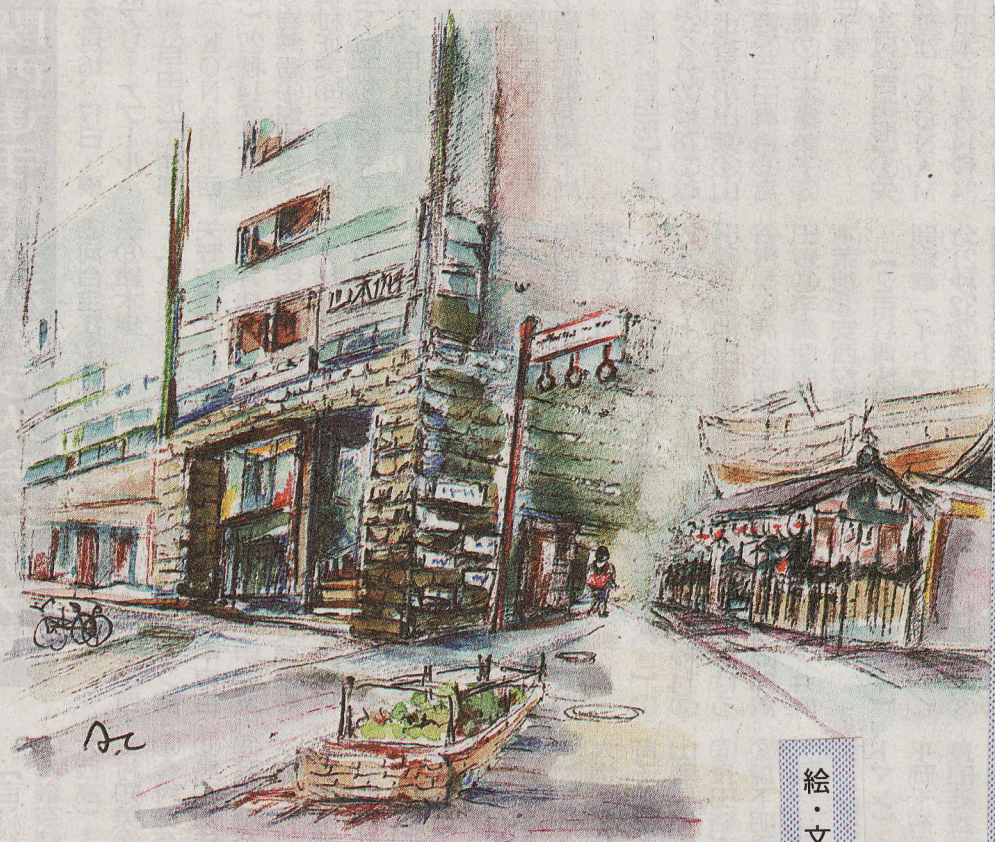


総合診断と難しい病気に取り組みむ内科医



絵・文 熱田親憲

# 御堂筋のあたり

ければよいということでも目抜き通りを選んだ。この立場で啓蒙に励んでいんな先生の奮りのないところが好きである。

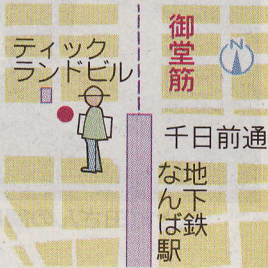
山本先生とは、ネパールの「ヨード欠乏症」の研究を私が支援している縁で知り合った。先生は内分泌科、特に甲状腺

しなかったケースです。総合的な判断と長期スパンで診断を続けることの必要性を痛感しています」と一気に話された。先生は一呼吸後、「医療制度を根本的に早急に見直す必要がある」と医療現場の問題点を指摘。社会問題になっている医師不足対策として、医療権限をすべて医師が担うのでなく、一部は看護師への移譲を考える時期にきていると言う。麻酔師や開業看護師による成人

## 「気持ちとゆとりを持って」

の専門医だが、大陸内陸部に多い風土病と言われてきた「ヨード欠乏症」を解決するため、経済・社会的アプローチの必要性を痛感しておられた。先生と私の共著「アジアの瘤ネパールの瘤ヨード欠乏症への医学的・社会的挑戦」(春風社)を出版し、それぞれ

最近のミナミはタワーのような高層ビルが建ち並び、ビルの中のコンパームントルームではいろいろなドラマが展開されている。今日は、千日前通りの出世地蔵尊筋入り口にあるティックランドビルの3階、山本内科診療室を訪問した。医師の山本智英先生とは2年ぶりの再会。山本先生は民間病院長を退職後、ここで個人医院を開業された。その時の決意の言葉が、今でも忘れられない。「総合病院で3時間待って3分の診



ヨード欠乏症 ヨウ素欠乏により甲状腺機能が異常となる病気。身体がだるく首にこぶ状の腫れができる甲状腺腫、先天異常による発達障害などを引き起こす。ヨードを豊富に含む海藻などをよく食べる日本人に患者はほとんどいないが、大陸内陸部や山岳地帯に患者が多く、世界の罹患(りかん)リスク人口は17億〜20億人とも言われる。